

PRESS RELEASE 2019 / 10 / 02

ニューヨーク・アートシーン ーロスコ、ウォーホルから 草間彌生、バスキアまでー 滋賀県立近代美術館コレクションを中心に

THE NEW YORK ART SCENE From Rothko and Warhol to Kusama and Basquiat
From the Collection of The Museum of Modern Art, Shiga and More

2019年11月14日（木）－2020年1月19日（日）
埼玉県立近代美術館

第二次世界大戦後、画期的な表現を次々と生み出して注目を集めたニューヨーク。大戦中、戦火を逃れてヨーロッパから移り住んだ多くの美術家たちによって伝えられた近代美術がアメリカの若者たちを刺激し、新しい意欲的な表現へと道を開いたのです。

当時最先端の表現であったキュビズムとシュルレアリスムを乗り越えようとする試みは、アクションという画家の激しい身振りの結果として、あるいは広漠とした色面の広がりとして、抽象表現主義と呼ばれる新しい絵画を生み出しました。また男性用小便器を展覧会に出品したマルセル・デュシャンのダダ的な行為は、生活と芸術を等価とみなすネオ・ダダと呼ばれる作家たちに影響を与え、大衆文化への関心は大量消費社会を背景にポップ・アートというアメリカ独自の美術として花開きます。一方で1960年代以降、美術の根源を探るきわめて禁欲的、還元的な美術も同じニューヨークに登場します。そして現代美術の首都とも呼ぶべきその街では多くの日本人も活躍し、草間彌生や河原温のように今日では世界的に知られる作家も存在しました。

この展覧会では、現在改修のため休館中の滋賀県立近代美術館が所蔵する日本屈指の戦後アメリカ美術のコレクションを中心に、国内の美術館に所蔵される優品を加えた約100点の作品によって、ニューヨークという都市で繰り広げられたアメリカ美術の半世紀を紹介します。

展示構成

1章 新しいアメリカ絵画—抽象表現主義

出品作家：アーシル・ゴーキー、マーク・ロスコ、ジャクソン・ポロック、バーネット・ニューマン、アド・ラインハート、サイ・トゥオンブリー、ヴィレム・デ・クーニング

2章 デュシャンとその末裔—ネオ・ダダとフルクサス

出品作家：マルセル・デュシャン、ジャスパー・ジョーンズ、ロバート・ラウシェンバーグ、荒川修作、ジョン・ケージ、フルクサス、ジョージ・マチューナス、塩見允枝子

3章 パクス・アメリカナの夢—ポップ・アートとスーパー・リアリズム

出品作家：トム・ウェッセルマン、ロイ・リクテンスタイン、アンディ・ウォーホル、ジム・ダイン、チャック・クロース、ジョージ・シーガル、ジェームズ・ローゼンクイスト、中川直人

4章 最後の絵画—ポスト・ペインタリーアブストラクション

出品作家：モーリス・ルイス、ケネス・ノーランド、フランク・ステラ

5章 限界における美術—ミニマル・アートとコンセプチュアル・アート

出品作家：フランク・ステラ、草間彌生、桑山忠明、カール・アンドレ、ドナルド・ジャッド、ロバート・モリス、ソル・ルウィット、リチャード・セラ、アグネス・マーチン、河原温

6章 ポスト・モダン以後の表現—ニュー・ペインティングとアプロプリエーション・アート

出品作家：杉本博司、ジョナサン・ボロフスキー、篠原有司男、シンディ・シャーマン、ジャン＝ミシェル・バスキア、近藤竜男、依田寿久、フェリックス・ゴンザレス＝トレス

開催概要

1. 会期 2019年11月14日(木・県民の日)～2020年1月19日(日)
休館日：月曜日(1月13日は開館)および12月27日～1月3日
2. 開館時間 10時～17時30分(展示室への入場は17時まで)
3. 観覧料 一般1200円(960円)、大高生960円(770円)
※()内は20名以上の団体料金
※中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料です。
※併せてMOMASコレクション(1階展示室)もご覧いただけます。
4. 主催 埼玉県立近代美術館
5. 特別協力 滋賀県立近代美術館
6. 助成 一般財団法人 地域創造
7. 協力 JR東日本大宮支社、FM NACK 5
8. 出品点数 約100点
*会期中に一部展示替えがあります。前期：11月14日(木)～12/15(日)、後期：12/17(火)～1月19日(日)。
詳しくはホームページをご覧ください。

10. 会場案内／アクセス

埼玉県立近代美術館 〒330-0061 さいたま市浦和区常盤9-30-1
電話 048-824-0111 FAX 048-824-0118

<http://www.pref.spec.ed.jp/momas/>

JR京浜東北線北浦和駅西口から徒歩3分(北浦和公園内)。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅までそれぞれ約35分です。当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります(企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き)。団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたします。ただし台数に限りがありますので予めご了承ください。

会期中の催し

I ミュージアム・カレッジ 2019 - 20世紀アメリカの視覚表現 - < 埼玉大学 創立70

周年記念事業 >

企画展にちなみ、埼玉大学教養学部と埼玉県立近代美術館が共催する公開講座です。
各日とも15:00～16:30(開場は14:30)／2階講堂／定員100名(当日先着順)／料金：

無料

- ①11/16(土) 「ニューヨーク・アートシーン 戦後アメリカ美術の展開と特質」
尾崎信一郎（「ニューヨーク・アートシーン」展企画者／鳥取県立博物館副館長）
- ②11/23(土) 「ロスコ、コーネル、フレヴィン、孤独への旅、あるいは恒星の国アメリカ」 加藤有希子（埼玉大学基盤教育研究センター・准教授）
- ③11/30(土) 「ダンスとノン・ダンスの間：ジャドソン・グループとその周辺」
外山紀久子（埼玉大学大学院人文社会科学研究所・教授）
- ④12/7(土) 「ニュー・バウハウスから MIT へ：G・ケペシュのアート&サイエンス」 井口壽乃（埼玉大学大学院人文社会科学研究所・教授／副学長）

II ミュージアム・コンサート

- ①12/1(日)「ニューヨーク、記憶の襞を辿る」14:30～15:30(開場は14:00)／2階講堂／定員60席(当日先着順)／料金：無料／出演者：奥平真吾 THE FORCE SPECIAL〈奥平真吾(Ds)、岡 淳(Sax)、片倉真由子(Pf)、古木佳祐(B)〉／内容：長年ニューヨークで活動した奥平真吾が、その豊かな体験からジャズ・スタンダード、オリジナル曲を選曲してお届けいたします。
- ②12/22(日)「笛は魔術師 エネルギーがほとぼしる！」14:30～15:30(開場は14:00)／地階センターホール／定員60席(当日先着順)／料金：無料／出演者：山下 Topo 洋平(ケーナ)、茨木智博(オカリナ)、森 悠也(ピアノ)／内容：ラテン系アーティストを含む多様な展示に合わせて、南米の笛ケーナのスペシャリスト山下 Topo 洋平がヴァリエティに富んだ選曲でお届けいたします。

III 担当学芸員によるギャラリートーク

12/14(土)、1/11(土) 各日とも15:00より30分程度／2階展示室／企画展観覧料が必要です。

IV スライド・トークのご案内

ご希望のグループにスライドを使って本展覧会の見どころをご案内します(予約制)。お問い合わせ、ご予約は教育・広報担当まで(電話 048-824-0110)。

お問い合わせ

展覧会担当：大越、菊地 / 広報・画像に関してのお問い合わせ：谷田
電話 048-824-0111 (代表) / 048-824-0110 (学芸部) Fax 048-824-0118

広報用画像の提供について

- ・画像のご提供については、当館にお問い合わせください。当館から画像をデータにてご提供いたします。ご請求はメールで、kouhou@aria.ocn.ne.jp（広報担当・谷田）までお願いします。
- ・①あるいは②の画像を掲載する場合、下記のとおりキャプションを記載してください。また作品部分のトリミング、文字載せなどはしないようにお願いします。
- ・画像の掲載にあたり、①と②では著作権使用許諾申請は必要ありません。その他の画像をご希望の場合はご相談ください。

広報用画像



①
アーシル・ゴーキー
《無題（バージニア風景）》
1943-44年頃
油彩、カンヴァス
滋賀県立近代美術館蔵



②
モーリス・ルイス
《ダレット・ペー》
1959年
アクリル、カンヴァス
滋賀県立近代美術館蔵